



シリーズ タンチョウ Vol. 357

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

原 田 修
〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



レンジャーが交代しました

昨年12月より、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリのレンジャーが交代しました。着任のご挨拶を掲載させていただきます。新体制となったサンクチュアリをどうぞよろしくお願いいたします。

<着任の挨拶>

はじめまして、寺沼健斗（てらぬま けんと）です。

私は、幼少のころから自然の中で遊ぶことが好きで、また食べることも好きだったため高校大学と農業系の学校へ進学しました。卒業後は、より現場に近い職場で働きたいと思い、農業関連の企業で働いていました。現場での作業を行う中で野生動物とのかかわりは多く、鳥類をはじめとしたさまざまな野生動物とのかかわりを持ってきました。そんな中で、どうしても農業を行う立場から野生動物を一方的に「害獣」として扱ってしまう風潮に疑問を感じていました。これまでと違う視点から、自分が興味関心を持っていた自然とのかかわり方を見つけたいと思い、日本野鳥の会に転職し、鶴居村へやってきました。

元々登山や旅行が趣味なので北海道によく遊びに来ていましたが、ここに来るまでは正直な話、一度も鶴居村に来たことがありませんでした。不安とワクワクが混在している状況でしたが、着任前からたくさんのタンチョウを観察することができました。雄大な自然の中で仲良く餌をついばむタンチョウの姿をみて、この選択は間違っていなかったと思っています。

タンチョウを生で見たのは今回が初めてでしたが、一番驚いたのはその大きさです。サンクチュアリの施設内から双眼鏡を使って見ていた時は、そこまで大きいという印象はありませんでした。しかし、村内の農家さんの畑で至近距離からタンチョウを見た際に、人と比べても大差のない大きさでとても驚きました。また、雪が降っていたため見ることができたタンチョウの足跡も自分の手のひら程の大きさがあり、とても驚きました。

着任早々タンチョウの給餌が始まり、ピーク時には200羽を超えるタンチョウとサンクチュアリ内を埋め尽くす世界各国の人を見られることがとても楽しみです。その一方で、これまで野鳥観察の経験がなくほとんどゼロからのスタートとなるため不安もあります。これから積極的にタンチョウや野鳥について勉強していきますので、どうぞ温かい目で見守っていただければ幸いです。日々の生活面でも、雪とあまり縁がなかった生活から最高気温がマイナス以下となることが普通の地域での新生活、わからないことがいっぱいあります。ぜひお声がけいただき日々の生活面も学ばせていただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



はじめまして、寺沼健斗です！！